

GUITAR EFFECTS PROCESSOR

# Magicstomp



取扱説明書

# 安全へのこころがけ



## 注意

感電の恐れあり  
キャビネットをあけるな



このマークは、機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを示しています。

火災・感電・人身傷害の危険を防止するには ~以下の指示を必ず守ってください~

## 絵表示について

この「安全へのこころがけ」は製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示を使って説明しています。絵表示の意味をよく理解してから、本文をお読みください。



注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。



禁止の行為を告げるものです。



行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



## 警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う危険の恐れがある内容を示しています。



この機器を使用する前に以下の指示と取扱説明書をよく読んでください。



この機器を分解したり、改造したりしないでください。火災、感電の原因となります。



修理/部品の交換などで、取扱説明書に書かれている以外のことは、絶対にしないでください。必ずサービスセンターに相談してください。



次のような場所での使用や保存はしないでください。火災、感電の原因となります。

- 温度が極端に高い場所(直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など)
- 温度が極端に低い場所
- 水気の近く(風呂場、洗面台、濡れた床など)や湿度の高い場所
- ホコリの多い場所
- 振動の多い場所
- ※ 特に自動車内は直射日光などにより非常に高温となります。  
この機器を車内に放置しないでください。



本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かないでください。火災、感電、故障などの原因となります。



本機は国内仕様です。電源アダプターは必ずAC100Vの電源コンセントに接続して使用してください。エアコンの電源などAC200Vのものがあります。誤って接続すると火災、感電、故障などの原因となります。



付属の電源アダプター(AC-10)以外は使用しないでください。(異なった電源アダプターを使用すると)故障、発熱、発火などの原因となります。



電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、重いものを乗せたり、傷つけたりしないでください。電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



この機器を単独で、あるいはヘッドフォン、外部アンプ、外部スピーカーと組み合わせて使用した場合、設定によっては、永久的な難聴になる程度の音量になります。大音量や不快な程の音量で、長時間使用しないでください。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。



この機器に、異物(燃えやすいもの、硬貨、針金など)や液体(水やジュースなど)を絶対に入れないでください。感電や火災の原因になります。



次のような場合は、直ちに電源スイッチを切り電源アダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、サービスセンターに修理を依頼してください。

- 電源アダプターのコードやプラグが破損した場合
- 使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出た場合
- 異物が内部に入ったり、液体がこぼれた場合
- 機器が(雨などで)濡れた場合
- 機器に異常や故障が生じた場合



ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、過度に積み重ねての使用はしないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。



長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源アダプターのプラグを抜いておいてください。



## 注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負ったり、財産が損害を受ける危険の恐れがある内容を示しています。



電源プラグを抜くときは、電源アダプターのコードを持たずに、必ず電源アダプター本体を持って引き抜いてください。電源アダプターのコードが破損して、感電や火災が発生するおそれがあります。



タコ足配線はしないでください。音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。



本機とパワーアンプなどの他の機器とを接続する際は、必ずすべての機器の電源を切った上で行なってください。スピーカーなどの破損や故障の原因となります。



本機の電源を入れる際は、必ずボリュームツマミを0にした状態で行なってください。感電または機器の損傷のおそれがあります。



雑音が発生する装置(モーター、調光器など)や消費電力の大きな機器とは別のコンセントをお使いください。



本機の近くにパワーアンプなどの大型トランスを持つ機器がある場合、ハムやうなりが生じることがあります。その場合は、本機との向きや距離を変えてみてください。また、雑音の原因となるネオンや蛍光灯からは十分に離してご使用ください。



テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しないでください。デジタル回路を多用しているため、テレビやラジオなどに雑音が生じたりテレビ画面に色ムラを生じる場合があります。



本体のお手入れは、必ず柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジンやシンナー、洗剤、化学そうきんなどは絶対に使用しないでください。また、本体上にビニール製品やプラスチック製品などを置かないでください。本体の変色や変質の原因になります。



物をぶつかけたり、落としたりの乱暴な取り扱いや、ツマミやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えたりしないでください。製品に悪い影響を与え、性能を劣化させます。また、思わぬけがの原因となります。



本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なってください。コードをいためたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。



手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。



電源プラグにホコリが付着している場合は、ホコリをきれいに拭き取ってください。そのままの使用は火災、感電、故障などの原因となります。

不適切な使用や改造により故障した場合の保証は致しかねます。また、データが破損したり失われたりした場合の保証は致しかねますので、ご了承ください。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

## 音楽を楽しむエチケット



これは日本電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。適度な音量を心がけ、窓を開けたりヘッドフォンをご使用になるのもひとつの方法です。

ヘッドフォンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

このたびは、ヤマハMAGICSTOMPをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本製品の優れた機能をフルに発揮させると共に、未永くご愛用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになった後も不明な点が生じた場合に備えて、保証書とともに大切に保管してください。

## 目次

<b>MAGICSTOMPの主な特長</b> .....	<b>5</b>
<b>同梱品について</b> .....	<b>5</b>
<b>各部の名称と機能</b> .....	<b>6</b>
トップパネル .....	6
リアパネル .....	6
<b>接続</b> .....	<b>8</b>
<b>音を出してみよう</b> .....	<b>10</b>
アンプの電源を入れて、ギターを弾いてみよう .....	10
いろいろなパッチを試してみよう .....	10
<b>好みの音色を作ろう</b> .....	<b>12</b>
ツマミを回してエフェクトの効きを調整しよう .....	12
<b>パッチを保存しよう</b> .....	<b>14</b>
エディットしたパッチを保存しよう(ストア) .....	14
<b>パッチ名を変更しよう</b> .....	<b>16</b>
パッチ名の変更(ネームエディットモード) .....	16
<b>チューナーモード</b> .....	<b>18</b>
チューナーの使い方 .....	18
<b>ファクトリーセットの方法</b> .....	<b>19</b>
ファクトリーセットの方法 .....	19
<b>パッチをコンピューターでエディットしよう</b> .....	<b>20</b>
データの流れ .....	21
Sound Editor for MAGICSTOMPを使うには .....	21
Windowsユーザーの方へ .....	22
Macintoshユーザーの方へ .....	24
<b>エラーメッセージ</b> .....	<b>26</b>
<b>故障かな?と思ったら</b> .....	<b>26</b>
<b>仕様</b> .....	<b>27</b>
<b>ソフトウェアのご使用条件</b> .....	<b>28</b>
<b>サービスについて</b> .....	<b>29</b>

# MAGICSTOMPの主な特長

## 【ヤマハDSPテクノロジーを惜しみなく搭載した充実のエフェクト群】

- ・ ヤマハ製32bit DSPを搭載し、DGアンプ、AG-Stomp、UD-Stomp等で好評のエフェクト&アンプタイプを継承。更にプロフェッショナルマルチエフェクトプロセッサ「SPX」シリーズからも定番のプログラムを移植した、高品質&多機能のエフェクトプロセッサ。

## 【新規アルゴリズムによりギタリストに魅力的なエフェクト&アンプタイプを追加】

- ・ オーバードライブから強力なファズサウンドまで、多彩な音色を創り出す新規『ディストーション&アンプタイプ』
- ・ ヤマハ独自のモデリング技術VCM(Virtual Circuitry Modeling)による『ビンテージ系フェイザー&フランジャー』

## 【プロユースクオリティの即戦力プリセット音色パッチ】

- ・ アーティストとの綿密なコラボレーションにより、プロギタリストが本当に使いたいサウンドを創り出すエフェクトを音色パッチとして提供します。  
    《本体内蔵プリセットプログラム99種+CD-ROMパッチライブラリー》  
    《自由にエディット&保存が可能な99のユーザーエリア》

## 【コンパクトエフェクター感覚で直感的な操作性】

- ・ ギタリストに馴染みのあるシンプルなお見た目とコントロール(ツマミ×4、フットスイッチ×3)。直感的に操作を理解でき、すぐに多彩なサウンドメイキングが可能。

## 【USB経由で音色パッチのやりとりが可能】

- ・ 魅力的な音色パッチをUSB経由でWEB、CD-ROMから本体に取り込むこんだり、カスタマイズした音色パッチをコンピューターに保存することができます。

## 【専用PCエディターによるエフェクトのカスタマイズ機能】

- ・ 付属USBケーブルでコンピューターと接続し、同梱のソフトウェア「Sound Editor for MAGICSTOMP」を使えば、様々なパラメーター値のエディットや本体ツマミにアサインするパラメーターの設定が可能。自分だけの「MAGICSTOMP」にカスタマイズすることができます。

## 【クロマチックオートチューナー内蔵】

- ・ ライブパフォーマンス、レコーディング時に役立つクロマチックオートチューナーを内蔵。

# 同梱品について

パッケージの中には、次のものが入っています。箱を開けたら、まず同梱品を確認してください。

- ・ MAGICSTOMP本体 ..... 1
- ・ CD-ROM ..... 1
- ・ 電源アダプター(AC-10) ..... 1
- ・ USBケーブル ..... 1
- ・ 取扱説明書(本紙) ..... 1
- ・ パッチリスト ..... 1



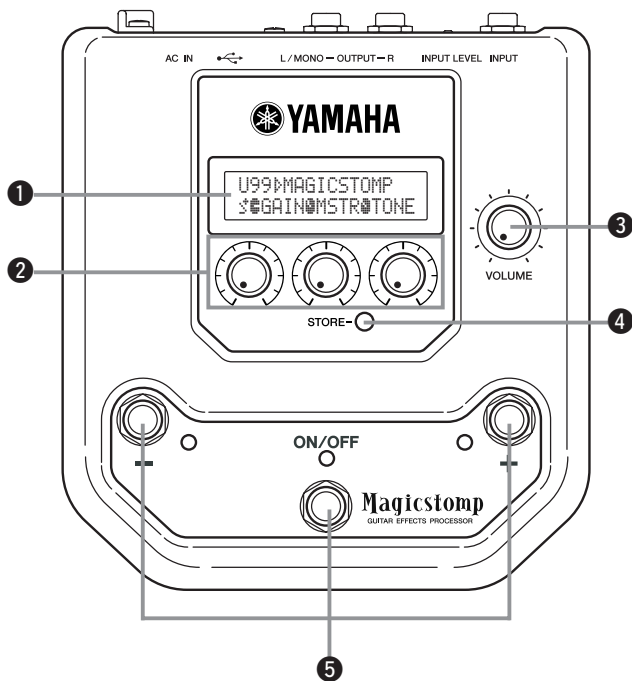
付属CD-ROMを開封する前に、必ず28ページの「ソフトウェアのご使用条件」をお読みください。



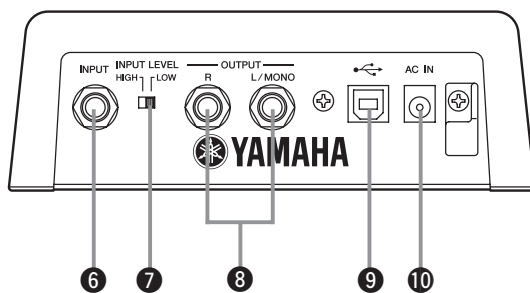
付属CD-ROMは、オーディオ用のCDプレーヤーで再生しないでください。大音量により耳に障害を被ったり、CDプレーヤーやスピーカーなどが破損する恐れがあります。

# 各部の名称と機能

## ■ トップパネル



## ■ リアパネル



## ① ディスプレイ

選択中のパッチの情報や、MAGICSTOMPの操作状態を表示します。

## ② コントロールツマミ

パッチのパラメーターをコントロールするツマミです。(→12ページ)

## ③ ボリュームツマミ(VOLUME)

MAGICSTOMPの出力ボリュームです。(→10ページ)

## ④ ストアボタン(STORE)

エディットしたパッチをMAGICSTOMPに保存(ストア)するためのスイッチです。(→14ページ)

## ⑤ -スイッチ, +スイッチ, ON/OFFスイッチ

パッチの選択やパッチのオン/オフ、モードの切替などに使います。(→10, 11, 16, 18ページ)

## ⑥ インプット端子(INPUT)

本機の入力端子です。ギターやシンセサイザーなどの楽器を接続します。(→9ページ)

## ⑦ インプットレベル切替スイッチ(INPUT LEVEL HIGH/LOW)

インプット端子に接続する楽器の出力レベルに応じて、HIGH/LOWを切り替えます。(→9ページ)

## ⑧ アウトプット端子(OUTPUT L/MONO, R)

本機の出力端子です。ギターアンプやレコーダー、PAミキサーなどと接続します。モノラル機器と接続する場合は、L/MONO端子を使います。(→9ページ)

## ⑨ USB端子

コンピューターのUSB端子と接続して、コンピューター上でのパッチ音色のエディットやコンピューターとMAGICSTOMPとの間でのパッチデータのやりとりを行なうことができます。(→21ページ)

## ⑩ 電源アダプター端子(AC IN)

付属電源アダプター(AC-10)をここに接続します。(→8ページ)

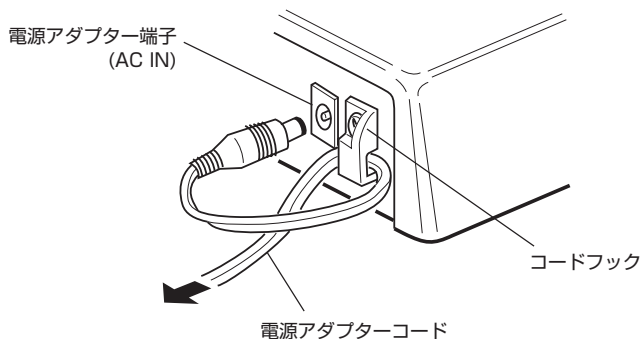
\* 本機は電源アダプターを接続(電源を供給)すると、電源オンになります。

# 接続

- 感電と機器の損傷を防ぐため、接続は、ギターアンプ等の電源オフ、MAGICSTOMPのボリュームツマミを最小にした状態で行なってください。
- 電源アダプターは、必ず付属のAC-10をお使いください。他の電源アダプターを使用した場合、故障、発熱、発火などの原因となり、大変危険です。
- 電源は、必ずAC100Vを使用してください。
- 付属の電源アダプターAC-10は、MAGICSTOMP専用です。他の機器に使用しないでください。

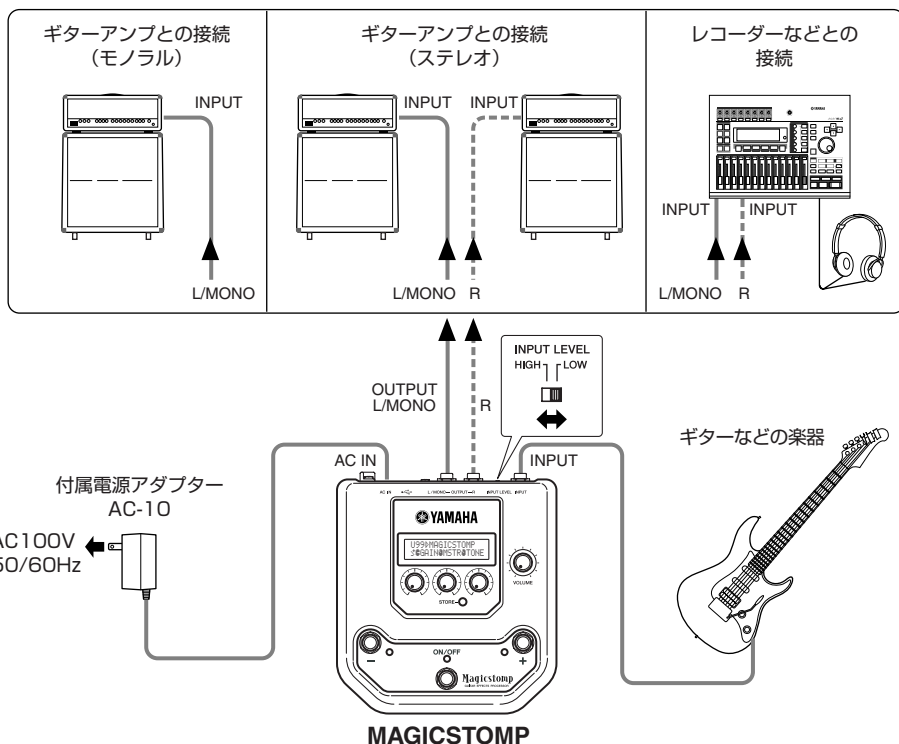
- 電源アダプターを接続すると、MAGICSTOMPは自動的に電源オンになります。
- INPUT端子にはギターやベースなどを接続します。もちろんシンセサイザーなどのラインレベルの楽器を接続することもできます。また、アンプやミキサーなどのエフェクトループにMAGICSTOMPを接続することもできます。
- 入力レベルスイッチ(INPUT LEVEL)は、接続する機器の出力レベルに応じて設定します。HIGHで使用して音が歪む場合はLOWに、LOWで使用してレベルが低いと感じる場合はHIGHに設定してください。
- ステレオアウトのパッチをお使いになる場合は、OUTPUT端子にはステレオの機器を接続されることをおすすめします。
- モノラル入力の機器と接続する場合は、OUTPUTのL/MONO端子と接続します。
- 電源アダプターをMAGICSTOMPのAC INに接続する際、下図のように電源アダプターコードをコードフックに巻き付けて、プラグのヌケ防止にお使いいただけます。

- ⊘ コードフックに巻き付ける際、電源アダプターコードを極端に折り曲げないでください。コードの断線や発火の原因となります。

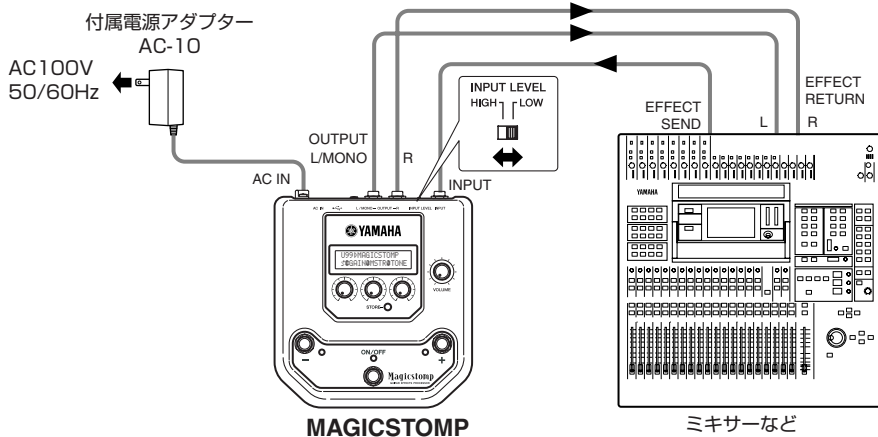




● ギターなどの楽器にエフェクトをかける場合



● MAGICSTOMPをエフェクトループに接続する場合



# 音を出してみよう

MAGICSTOMPには、さまざまなエフェクトパッチ(プログラムされたエフェクト)が内蔵されています。まずはそのサウンドを聞き比べてみましょう。

## ■ アンプの電源を入れて、ギターを弾いてみよう

現在選ばれているパッチの音 that 聞けます。

MAGICSTOMPの出力音量はボリュームツマミで調整します。



## ■ いろいろなパッチを試してみよう

MAGICSTOMPには書き替え自由なユーザーパッチが99個(U01~U99)、設定を変更して使えるが書き替えはできないプリセットパッチが99個(P01~P99)、合計198パッチ入っています。

\* 工場出荷時、ユーザーパッチにはプリセットパッチと同じデータが入っています。

### ● パッチの選び方は2通り

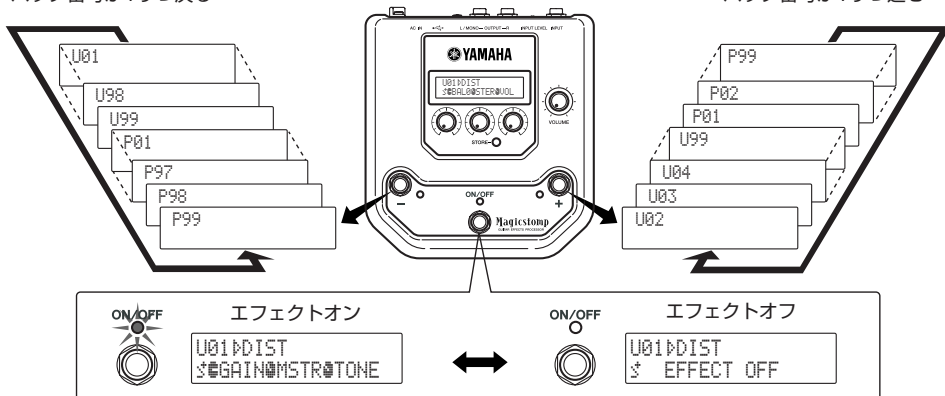
工場出荷時は【アップダウンモード】になっています。

+スイッチを押すとひとつ後のパッチ番号、-スイッチを押すとひとつ前のパッチ番号が選ばれます。スイッチを押し続けると高速で連続変化します。

パッチ(エフェクト)のオン/オフは、ON/OFFスイッチで切り替えます。

-スイッチを押すごとに  
パッチ番号が1ずつ戻る

+スイッチを押すごとに  
パッチ番号が1ずつ進む



もう一つの方法は【パフォーマンスモードモード】。

一、+、ON/OFFの3つのスイッチで、連続した3つのパッチをオン/オフできます。

① 一、+、ON/OFFの3つのスイッチのうちいずれか2つを押し続けます。

ディスプレイに“PERFORMANCE MODE”と表示されたらOKです。パフォーマンスモードに切り替わりました。

② 一スイッチまたは+スイッチを押し続けて、パッチのセットを切り替えます。

一スイッチ：U01/02/03→P97/98/99→P94/95/96→.....

+スイッチ：U01/02/03→U04/05/06→U07/08/09→.....

\* 3つのパッチセットは決まっています。(U01/02/03), (U04/05/06),....., (U97/98/99), (P01/02/03),.....(P97/98/99)。

\* パフォーマンスモードに切り替えたときには、アップダウンモードで選択していたパッチ番号を含むパッチセットが選ばれます。

③ アップダウンモードに戻るには、一、+、ON/OFFの3つのスイッチのうちいずれか2つを押し続けます。

ディスプレイに“UP DOWN MODE”と表示されたらOKです。

例) アップダウンモード(U06を選択)から、パフォーマンスモードに切り替えた場合

U06:AG TUBE1  
BAL STER VOL

アップダウンモード



どれか2つのスイッチを押し続けます...

U06:AG TUBE1  
PERFORMANCE MODE

U06:AG TUBE1  
BAL STER VOL

パフォーマンスモード

パフォーマンスモードでは、選ばれているパッチのランプが点灯(下図の例ではU05がオン)



一スイッチを押し続けると...

U01/02/03  
P97/98/99  
P94/95/96  
P91/92/93  
:  
:

+スイッチを押し続けると...

U07/08/09  
U10/11/12  
U13/14/15  
U16/17/18  
:  
:

3つのスイッチともオフにした場合の表示  
(ランプはすべて消灯)

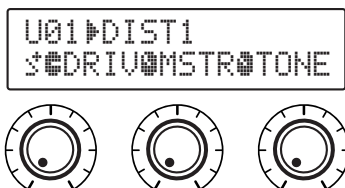
U05:AG DYNAMIC2  
OFF (U04:05:06)

# 好みの音色を作ろう

## ■ ツマミを回してエフェクトの効きを調整しよう

ディスプレイ下の3つのツマミで、パッチ(エフェクト)の効果を調整しましょう。3つのツマミでコントロールできるパラメーターは、パッチごとに異なります。ディスプレイ下段に、それぞれのツマミでコントロールできるパラメーター名と、その設定のツマミ位置が、表示されます。

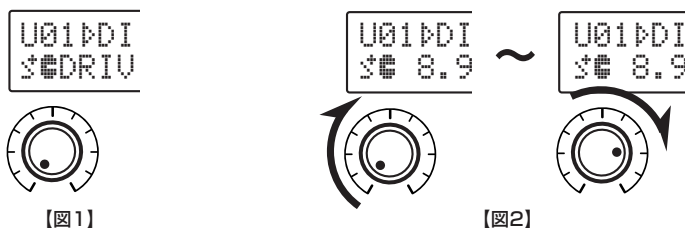
たとえば以下の例の場合だと、左のツマミから順に、パラメーター名：設定値は、**DRIV(ドライブ)：8.9、MSTR(マスター)4.0、TONE(トーン)2.8**となっています。



実際のツマミの位置と、設定されているパラメーターの値が同じでない場合は、一度ツマミを設定値の位置まで動かしてからでないと設定を変更することができません。

では、DRIVのツマミを回してみましょ。ツマミを動かす前は、パラメーター名が表示されています。【図1】

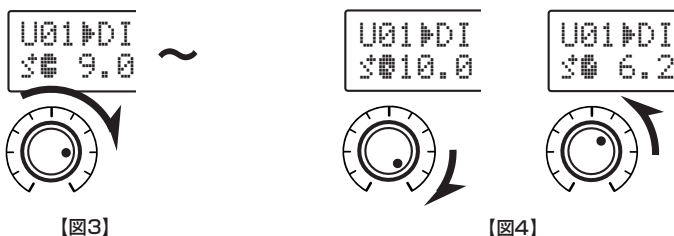
ツマミを動かすと設定値(8.9)が表示され、ツマミが3時の位置を通るまでは“8.9”と表示されたままで変わりません。【図2】



ツマミが3時の位置を過ぎると、表示はツマミの位置に従った値になります。また、パッチ番号の右の“▷”マークが“▶”になります。これはパラメーターの値が変更されたことを表します。【図3】

一度設定値表示が変わると、あとはツマミの位置に従った値を表示します。【図4】

ツマミを動かさずに数秒経つと設定値表示はパラメーター名表示に戻ります。



さあ、パッチの音色をあなた好みに作り替えてみてください。

\* パッチ(エフェクト)の効果の調整は、通常の演奏状態(パッチを選んでエフェクトをONの状態)のときのみ行なうことができます。エフェクトOFFの状態やストアモード(→14ページ)、ネームエディットモード(→16ページ)、チューナーモード(→18ページ)では行なえません。

エフェクト毎のパラメーターについての解説は、付属CD-ROMの(Macintoshのみ:「Japanese」フォルダー→)「Manual」フォルダーの中の「EffectListJ.pdf」ファイル(PDFファイル)をご覧ください。

\* PDFマニュアルをコンピューター上で見るためには、あらかじめソフトウェア“Acrobat Reader”をインストールしておく必要があります。(→23, 25ページ)

気に入ったサウンドは設定できましたか？

せっかく作ったパッチ設定ですから、次のストア操作でMAGICSTOMPに保存しておきましょう。保存しないで、別のパッチに切り替えたり電源を切ったりすると、エディットしたパッチの内容は元に戻ってしまいます。

MAGICSTOMPでは、付属CD-ROMに入っているソフトウェア“Sound Editor for MAGICSTOMP”を使って、コンピューター上でパッチ(エフェクト)をエディット(編集)することもできます。

MAGICSTOMPには63種類ものエフェクトタイプが内蔵されています。さらにそれらのエフェクトは、MAGICSTOMP本体でコントロールできる3つのパラメーター以外に数多くのパラメーターを持っています。“Sound Editor for MAGICSTOMP”では、それらのパラメーターを自由に変更することができるので、緻密なサウンドデザインを楽しむことができます。また、MAGICSTOMPの3つのツマミでコントロールするパラメーターも自分で選ぶことができます。

さらに、“Sound Editor for MAGICSTOMP”を使って、付属CD-ROMに入っているパッチライブラリーを使ったり、自分で作ったオリジナルパッチをコンピューターに保存したりすることもできます。

“Sound Editor for MAGICSTOMP”で、MAGICSTOMPをより深くお使いになることをおすすめします。詳しくは、20ページをご覧ください。

# パッチを保存しよう

## ■ エディットしたパッチを保存しよう(ストア)

MAGICSTOMPでは、ユーザーパッチ(U01~U99)に、オリジナルのパッチを保存(ストア)することができます。気に入ったサウンドのパッチができたなら、次の手順で保存しておきましょう。

\* プリセットパッチ(P01~P99)にはストアできません。

\* ボリュームツマミの設定は保存されません。

ストア操作を実行すると、ストア先のパッチはエディットしたパッチ情報で上書きされます。元のパッチを上書きするか、別のパッチを選んでそこにストアするか、目的によって操作が異なります。

### ● 元のパッチを書き替える(上書きする)場合

#### ① エディットが完了したら、[STORE]ボタンを押します。

ディスプレイ下段に“PRESS[STORE]1sec”と表示されます。

ディスプレイ上段には、ストア先のパッチ番号とエディットした(ストアする)パッチ名が表示されています。

\* プリセットパッチを選んだ状態で[STORE]ボタンを押すと、自動的に同じ番号のユーザーパッチがストア先に選ばれます。



#### ② パッチ名を変更してストアすることもできます。

パッチ名を変更してストアする場合は、16ページの手順②~④を実行します。

#### ③ ディスプレイに“NOW STORING...”と表示されるまで(約1秒)[STORE]ボタンを押し続けます。



\* ストアをキャンセルする場合は、[STORE]ボタンを1回押してすぐ(1秒以内)に指を離します。元の状態に戻ります(変更したパッチ名も元に戻ります)。

ストア先の確認やパッチ名の変更をしない場合は、エディット後に[STORE]ボタンを1秒以上押し続けるだけでストアを実行できます。

\* プリセットパッチをエディットした場合は、このストア方法は使えません。ストア先にユーザーパッチを指定してからストアしてください。

● 別のパッチ番号に保存したい場合

- ① エディットが完了したら、[STORE]ボタンを押します。



- ② 保存したいパッチ番号を選びます。

—スイッチ/＋スイッチを押して、保存先のユーザーパッチ番号を選びます。



- ③ パッチ名を変更してストアすることもできます。

パッチ名を変更してストアする場合は、16ページの手順②～④を実行します。

- ④ ディスプレイに“NOW STORING...”と表示されるまで(約1秒)[STORE]ボタンを押し続けます。



\* ストアをキャンセルする場合は、[STORE]ボタンを1回押してすぐ(1秒以内)に指を離します。元の状態に戻ります(変更したパッチ名も元に戻ります)。

新しいパッチを作ってストアするだけでなく、ライブで使う順番にパッチを並べ替えたりする場合も、このストア操作を行えば可能です。

# パッチ名を変更しよう

## ■ パッチ名の変更(ネームエディットモード)

ユーザーパッチのパッチ名は、最大12文字まで自由に設定することができます。

\* プリセットパッチ(P01~P99)のパッチ名は変更できません。

### ① [STORE] ボタンを押します。

ディスプレイ下段に“PRESS[STORE]1sec”と表示されます。



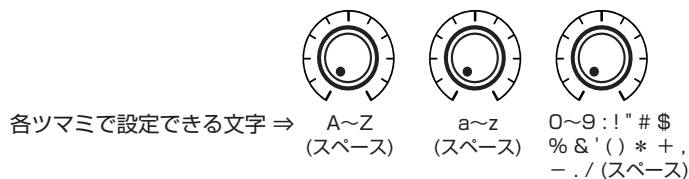
### ② ディスプレイに“NAME EDIT MODE”と表示されるまでON/OFFスイッチを押し続けます。

パッチ名の先頭の文字の下にカーソルが表示されます。



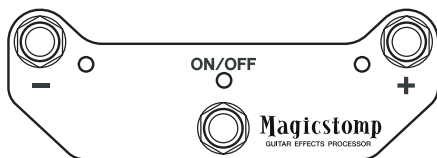
### ③ カーソルを移動し、文字を変更します。

－スイッチ/＋スイッチで、変更したい文字の下にカーソルを移動し、3つのつまみで文字を決定します。



- ・ カーソルを左(←)へ移動
- ・ [STORE] ボタンと同時に押すと、カーソル位置の文字を削除

\* いずれもスイッチを押し続けると連続で機能します。



- ・ カーソルを右(→)へ移動
- ・ [STORE] ボタンと同時に押すと、カーソル位置にスペースを挿入

\* いずれもスイッチを押し続けると連続で機能します。



パッチ名は12文字まで設定することができます。

\* USB接続時は、11文字目までが表示されます。

- ④ パッチ名の設定ができたなら、ON/OFFスイッチを押します。  
設定したパッチ名で、ストア待ちの状態になります。



- ⑤ ディスプレイに“NOW STORING...”と表示されるまで(約1秒) [STORE]ボタンを押し続けます。  
設定したパッチ名でパッチが保存されます。



\* パッチ名の変更をキャンセルする場合は、[STORE]ボタンを1回押してすぐ(1秒以内)に指を離します。  
元の状態(元のパッチ名)に戻ります。

# チューナーモード

ギターをチューニングするためのモードです。チューナーモードでは、MAGICSTOMPはクロマチックオートチューナーとして動作します。

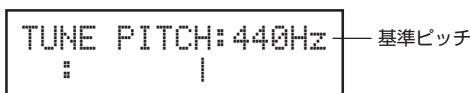
\* チューナーモードでは、MAGICSTOMPのOUTPUT端子からの出力はミュートされます(音が出ません)。

## ■ チューナーの使い方

**1** ディスプレイに下のようなチューナー画面が表示されるまで、ON/OFFスイッチを押し続けます。

この画面で、INPUT端子に接続したギターをチューニングすることができます。

\* ストア操作中はチューナー機能は使えません。

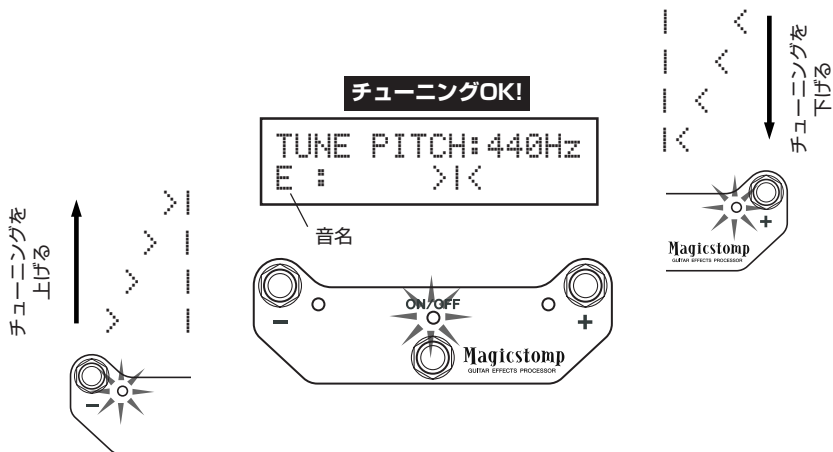


**2** 基準ピッチを440Hz以外に変更する場合は、-スイッチ/+スイッチで設定します。MAGICSTOMPでは、438Hz~445Hzの範囲で基準ピッチを設定することができます。

**3** チューニングしたい弦を弾きます(単音で鳴らします)。

1. まず、合わせたい音名がディスプレイに表示されるように、ギターをチューニングします。
2. チューニングが低い場合は>のマークが表示され、-ボタンのランプが点灯します。チューニングが高い場合は<のマークが表示され、+ボタンのランプが点灯します。">|<"が表示され、ON/OFFボタン点灯するようにチューニングできたらOKです。

**4** ON/OFFボタンを押すと、元の画面に戻ります。



# ファクトリーセットの方法

## ■ ファクトリーセットの方法

ON/OFFスイッチと[STORE]ボタンを同時に押した状態で電源アダプターを接続すると、ファクトリーセットの設定画面が表示されます。

```
FACTORY SET  
NO: [-] YES: [+]
```

+スイッチを押すと、ファクトリーセットを実行してよいか、確認の画面が表示されます。

\* -スイッチを押すとファクトリーセットをせずにMAGICSTOMPがスタートします。

```
FACTORY SET  
SURE?PUSH[STORE]
```

STOREボタンを押すとファクトリーセットが実行され、ユーザーパッチの内容はすべてプリセットパッチの内容に書き替えられます。

\* -, +, ON/OFFのいずれかのスイッチを押すとファクトリーセットをキャンセルしてMAGICSTOMPがスタートします。

**ファクトリーセットを実行すると、あなたが保存したユーザーパッチ内容はすべて消えてしまいます。必要なデータはセッティングをメモしたり、コンピューターに保存したりすることをお勧めします。**

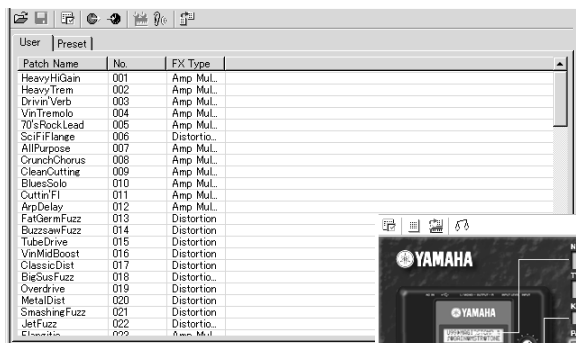
# パッチをコンピューターでエディットしよう

MAGICSTOMPに付属のCD-ROMの中には、本体のプリセットパッチ(P01～P99)とは別のパッチ集(ライブラリーファイル形式)が用意されています。これらのパッチの中からお気に入りのパッチを選んで、MAGICSTOMPのユーザーパッチ(U01～U99)に書き込んで使うことができます。

また、付属CD-ROMの中の“Sound Editor for MAGICSTOMP”というソフトウェアを使うと、MAGICSTOMP本体上ではコントロールできないパラメーターを自由にエディットしてオリジナルパッチを作成することができます。

操作はカンタン。Sound Editor for MAGICSTOMPを立ち上げ、ライブラリーウィンドウでパッチを選んでクリックすれば、そのパッチのすべてのパラメーターをエディットできるエディットウィンドウが開きます。その画面上でパッチタイプ(エフェクトタイプ)やパッチ名、MAGICSTOMPのツマミに割り当てるパラメーターを設定することができます。でき上がったパッチは、ユーザーパッチの好きな場所に書き込むことができます。

## ライブラリーウィンドウ

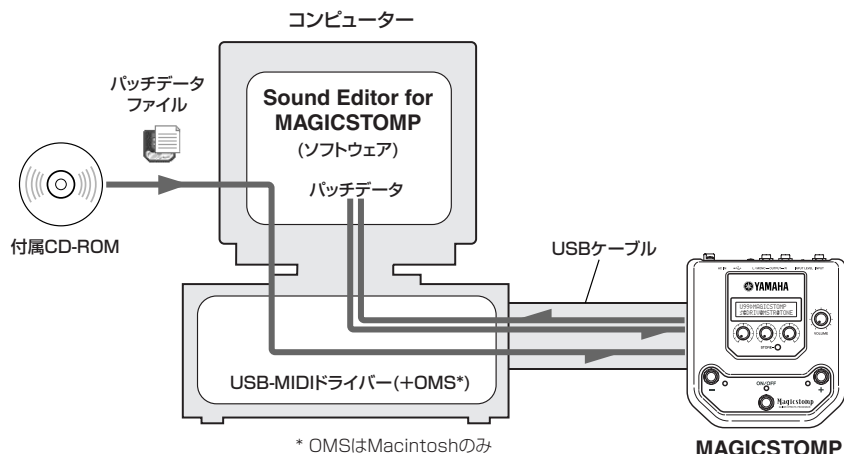


## エディットウィンドウ



## ■ データの流れ

- ・ コンピューター(Windows/MacintoshどちらでもOK)のUSB端子とMAGICSTOMPのUSB端子を、付属のUSBケーブルで接続します。
- ・ CD-ROM内にある“Sound Editor for MAGICSTOMP”は、MAGICSTOMPのパッチをエディットしたり、MAGICSTOMPとコンピューターとの間でパッチデータを受渡ししたりするためのソフトウェアです。CD-ROM内にあるパッチデータファイルをMAGICSTOMPに書き込むときにもこのソフトウェアを使います。
- ・ MAGICSTOMPとコンピューターとの間のデータ通信に必要な“USB-MIDIドライバー”、“OMS”(Macintoshのみ)というソフトウェアも、付属CD-ROMに用意されています。



## ■ Sound Editor for MAGICSTOMPを使うには

CD-ROMを開封する前に、必ず28ページの「ソフトウェアのご使用条件」をお読みください。その上で、以下の手順に従って作業を行ないます。

- 1 お持ちのコンピューターの動作環境が“Sound Editor for MAGICSTOMP”およびドライバーに必要な条件を満たしているか確認してください。(Windows→22ページ、Macintosh→24ページ)
- 2 “Sound Editor for MAGICSTOMP”取扱説明書、付属ソフトウェアのインストールガイド、MAGICSTOMPエフェクトリストは、付属CD-ROM内に電子マニュアル(PDFマニュアル)で用意されています。これらのPDFマニュアルをご覧になるには、コンピューターにAcrobat Readerがインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、付属CD-ROM内のAcrobat Readerをインストールしてください。(Windows→23ページ、Macintosh→25ページ)

\* 上記3種のPDFマニュアルは、付属CD-ROMの「Manual」フォルダーの中にあります。

## Windowsユーザーの方へ

### ● CD-ROMの内容

フォルダー名	ソフト名	内容
ACROREAD	Acrobat Reader *1*2	アプリケーションソフトのPDFマニュアルをコンピューター上で閲覧できるようにします。
Manual	PDFマニュアル(和英各3ファイル) ・ SoundEditor_J.pdf/SoundEditor_E.pdf ・ InstallGuide_J.pdf/InstallGuide_E.pdf ・ EffectList_J.pdf/EffectList_E.pdf	Sound Editor for MAGICSTOMP取扱説明書 付属ソフトウェアのインストールガイド MAGICSTOMPエフェクトリスト
USBdrv_	YAMAHA USB MIDI driver(Win98/Me用)	MAGICSTOMPとコンピューターをUSB接続するのに必要なドライバーソフトです。
USBdrv2k_	YAMAHA USB MIDI driver(Win2000/XP用)	
Tools	Sound Editor for MAGICSTOMP *1	MAGICSTOMPのパッチデータをコンピューター上でエディットするためのソフトウェアです。
Sample	パッチライブラリー	MAGICSTOMP用のパッチファイル集です。Sound Editor for MAGICSTOMP使って、MAGICSTOMPに書き込むことができます。

\*1：これらのソフトウェアにはPDFマニュアルが付いています。

\*2：このソフトウェアはヤマハではサポートしません。

### ● 必要なコンピューター環境

お持ちのコンピューターの動作環境が、以下の条件を満たしていることを確認してください。

\* お使いのOSによっては、下記の仕様以上の条件を満たす必要があります。

#### Sound Editor for MAGICSTOMP

OS： Windows 98/Me/2000/XP Home Edition/XP Professional  
 対応コンピューター： 166MHz以上のIntel PentiumおよびCeleronファミリーのプロセッサーを搭載したコンピューター  
 メモリ： 32MB以上  
 ハードディスク： 30MB以上の空き容量  
 ディスプレイ： 800×600以上 High Color (16bit)

#### USB MIDI Driver

OS： Windows 98/Me/2000/XP Home Edition/XP Professional  
 対応コンピューター： USB端子を装備した166MHz以上のIntel Pentium/Celeronファミリーのプロセッサーを搭載したコンピューター  
 メモリ： 32MB以上 (64MB以上推奨)  
 ハードディスク： 2MB以上の空き容量

## ● Acrobat Reader のインストール

“Sound Editor for MAGICSTOMP”の取扱説明書、付属ソフトウェアやドライバーのインストールガイド、MAGICSTOMPエフェクトリストは、CD-ROMの「Manual」フォルダー内にPDFマニュアル(\*\*\*J.pdf)の形で用意されています。

これらのPDFマニュアルをコンピューター上で見るためには、あらかじめソフトウェア“Acrobat Reader”をインストールしておく必要があります。まず以下の手順で“Acrobat Reader”をインストールしてください。

\* 付属CD-ROMに搭載されているバージョン以前のAcrobat Readerがすでにコンピューターにインストールされている場合は、それをアンインストールしてから、CD-ROM内のAcrobat Readerをインストールしてください。

**1** 付属CD-ROMの「ACROREAD」フォルダーをダブルクリックします。  
「ar\*\*\*jpn.exe」(\*\*\*にはバージョンを示す数字が入ります)という実行ファイルが表示されます。

**2** 「ar\*\*\*jpn.exe」をダブルクリックします。  
Acrobat Readerのセットアップダイアログが表示されます。

**3** 画面の指示に従ってインストールを実行します。

インストールが完了すると、コンピューター上(デフォルトではProgram Files)にAcrobatのフォルダーが追加されます。

操作については[ヘルプ]メニューの[Readerのヘルプ]をご参照ください。

## Macintoshユーザーの方へ

### ● CD-ROMの内容(「Japanese」フォルダーの内容)

\* 「International」フォルダーの中には、英語版のソフトウェアが入っています。

フォルダー名	ソフト名	内容
ACROREAD	Acrobat Reader *1*2	アプリケーションソフトのPDFマニュアルをコンピューター上で閲覧できるようにします。
Manual	PDFマニュアル(3ファイル) ・ SoundEditor_J.pdf ・ InstallGuide_J.pdf ・ EffectList_J.pdf	Sound Editor for MAGICSTOMP取扱説明書 付属ソフトウェアのインストールガイド MAGICSTOMPエフェクトリスト
OMS	Open Music System (OMS) 2.3.3J *1*2	Mac OS上で音楽アプリケーション(MIDIデータ)を使用できるようにします。
	USB-MAGICSTOMP (OMS Setup for YAMAHAフォルダー内)	MAGICSTOMP用のOMSセットアップファイルです。
USBdrv_	YAMAHA USB MIDI driver	MAGICSTOMPとコンピューターをUSB接続するのに必要なドライバースoftwareです。
Tools	Sound Editor for MAGICSTOMP *1	MAGICSTOMPのパッチデータをコンピューター上でエディットするためのソフトウェアです。
Sample	パッチライブラリー	MAGICSTOMP用のパッチファイル集です。Sound Editor for MAGICSTOMP使って、MAGICSTOMPに書き込むことができます。

\*1：これらのソフトウェアにはPDFマニュアルが付いています。

\*2：このソフトウェアはヤマハではサポートしません。

### ● 必要なコンピューター環境

お持ちのコンピューターの動作環境が、以下の条件を満たしていることを確認してください。

\* お使いのOSによっては、下記の仕様以上の条件を満たす必要があります。

#### □ Sound Editor for MAGICSTOMP

OS： Mac OS 8.6以上Mac OS 9.22以下 (Mac OS XおよびClassic環境は未対応)

対応コンピューター： PowerPC以上を搭載したMacintoshコンピューター

メモリ： 16MB以上

ハードディスク： 32MB以上の空き容量 (OMSを除く)

ディスプレイ： 800×600以上 32,000色以上

#### □ USB MIDI Driver

OS： Mac OS 8.5以上Mac OS 9.22以下 (Mac OS XおよびClassic環境は未対応)

対応コンピューター： USB端子を装備し、PowerPC以上を搭載したMacintoshコンピューター

メモリ： 64MB以上 (128MB以上推奨)

\* ただし、仮想メモリは「切」にしてください。

ハードディスク： 2MB以上の空き容量

その他： OMS 2.3.3以上 (同梱CD-ROMに付属)



## ● Acrobat Reader のインストール

“Sound Editor for MAGICSTOMP”の取扱説明書、付属ソフトウェアやドライバーのインストールガイド、MAGICSTOMPエフェクトリストは、CD-ROMの「Japanese」フォルダー→「Manual」フォルダー内にPDFマニュアル(\*\*\*J.pdf)の形で用意されています。

これらのPDFマニュアルをコンピューター上で見るためには、あらかじめソフトウェア“Acrobat Reader”をインストールしておく必要があります。まず以下の手順で“Acrobat Reader”をインストールしてください。

\* コンピューターにすでにAcrobat Readerがインストールされている場合は再インストールする必要はありません。

**1** 付属CD-ROMの「Japanese」フォルダー→「ACROREAD」フォルダーをダブルクリックします。

「Acrobat Reader Installer」(インストーラー)が表示されます。

**2** 「Acrobat Reader Installer」をダブルクリックします。

Acrobat Readerのセットアップダイアログが表示されます。

**3** 画面の指示に従ってインストールを実行します。

インストールが完了すると、コンピューター上(デフォルトではハードディスク上)に「Adobe Acrobat」フォルダーが追加されます。

操作については[ヘルプ]メニューの[Readerのヘルプ]をご参照ください。

# エラーメッセージ

MAGICSTOMPにエラーが発生した場合、ディスプレイに次のエラーメッセージが表示されます。操作を一時中断し、それぞれの対処方法に従ってください。

BAD DATA:U\*\*  
PUSH ANY KEY

バルクアウトしようとしたデータが壊れています。ナンバーに対応するユーザーパッチデータを修復(上書き保存など)後、再送信してください。

MIDI ERROR!  
PUSH ANY KEY

通信エラーです。USBケーブルの接続、コンピューターの設定などを確認してください。

BULK ERROR!  
PUSH ANY KEY

バルクの送受信に失敗しました。USBケーブルの接続を確認してください。また、途中まで通信をしている場合は、通信速度(インターバル)を遅くすることで、正しく受信できる場合があります。

USB ERROR!  
PUSH ANY KEY

ハードウェアの故障です。29ページのヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点にお問い合わせください。

## 故障かな?と思ったら

### ● 音が出ない

- 電源アダプターは正しく接続されていますか?
- INPUT端子に接続した楽器のボリュームは上がっていますか?
- ボリュームつまみが“0”になっていませんか?
- エフェクトの出力レベル設定が“0”になっていませんか?

### ● 音が小さい

- 入力レベルスイッチを“HIGH”に切り替えてみてください。(→8ページ)

### ● エフェクトがかからない

- エフェクトの出力レベル設定が“0”になっていませんか?
- エフェクトがOFF(すべてのランプ消灯)になっていませんか?

### ● パッチが切り替わらない

- ディスプレイの表示を確認してください。チューナーモード(→18ページ)やネームエディットモード(→16ページ)ではパッチの切り替えができません。

### ● ツマミを回しても音が変わらない

- ディスプレイの数値が変わるまで、つまみを回してから設定してください。(→12ページ)

# 仕様

## デジタル部

- ・デジタルシグナルプロセッシング・エフェクター
- ・専用エディターソフト“Sound Editor for MAGICSTOMP”同梱
- ・パッチセレクト：2モード
- ・クロマチックオートチューナー内蔵

## 通信機能

- 受信 Parameter Change, Bulk In (1 patch), Bulk In (99 patch)
- 送信 Bulk Out (99 patch)

## コントローラー/スイッチ

- ボリューム×4  
CONTROL1, 2, 3, VOLUME
- プッシュスイッチ×4  
-, +, ON/OFF, STORE
- スライドスイッチ×1  
INPUT LEVEL (HIGH/LOW)

## ディスプレイ

- 16×2 character LCD (バックライト付き)  
LED×3 (-, +, ON/OFF)

## 接続端子

- INPUT (標準フォンモノジャック)  
OUTPUT L/MONO, R (標準フォンモノジャック)  
USB  
AC IN

## A/Dコンバーター

24ビット+3ビットフローティング

## D/Aコンバーター

24ビット

サンプリング周波数 44.1 kHz

メモリー数 プリセット：99  
ユーザー：99

## 入力レベル/インピーダンス

INPUT HIGH：-25dBm/1 M $\Omega$   
INPUT LOW：-15dBm/1 M $\Omega$

## 出力レベル/インピーダンス

OUTPUT L/MONO, R：0dBm/1 k $\Omega$

電源 専用電源アダプター(AC-10)  
入力：AC 100V, 50/60 Hz  
出力：AC12V, 1000mA

消費電力 12 W

寸法(W x H x D) 164×62×176 mm

重量 910 g

付属品 電源アダプター(AC-10)  
CD-ROM  
USBケーブル  
取扱説明書(本書)  
パッチリスト

\* 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

## ソフトウェアのご使用条件

弊社では本ソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについて、〈ソフトウェア使用許諾契約〉を設けさせていただいており、お客様が下記条項にご同意いただいた場合のみご使用いただけます。

ディスクの包装を解かれた場合は下記条項にご同意いただけたものとさせていただきますので、下記条項を充分お読みの上開封してください。ご同意いただけない場合は、未開封のまま速やかに(14日以内)にご返却ください(ただし、本ソフトウェアをソフトウェアパッケージの一部として、またはハードウェア商品の付属ソフトウェアとしてお求めいただいた場合、本ソフトのみの返却はお受けいたしません)。

## ソフトウェア使用許諾契約

### 1. 著作権および使用許諾

弊社はユーザー登録されたお客様に対し、本ソフトウェアを構成するプログラム、データファイル及び今後お客様に一定の条件付きで配布され得るそれらのバージョンアッププログラム、データファイル(以下「許諾プログラム」といいます)を、お客様ご自身が一時に一台のコンピューターにおいてのみ使用する権利を許諾します。これらの許諾プログラムが記録されているディスクの所有権は、お客様にあります。許諾プログラム自体の権利及びその著作権は、弊社が有します。

### 2. 使用制限

許諾プログラムは著作権を持つ情報を含んでいますので、その保護のため、お客様が許諾プログラムを逆コンパイル、逆アセンブル、リバース・エンジニアリング、またはその他の方法により、人間が感得できる形にすることは許されません。許諾プログラムの全体または一部を複製、修正、改変、賃貸、リース、転売、頒布または許諾プログラムの内容に基づいて二次的著作物をつくることは許されません。許諾プログラムをネットワークを通して別のコンピューターに伝送することも許されません。

### 3. 終了

本使用条件はお客様が許諾プログラムをお受け取りになった日に発効します。本使用条件による使用許諾は、お客様が著作権法または本使用条件の条項に1つでも違反されたときは、弊社からの終了通知がなくても自動的に終了するものとします。その場合には、ただちに許諾プログラムとその複製をすべて廃棄しなければなりません。

### 4. 製品の保証

弊社は、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から14日間に限り、媒体に物理的な欠陥があった場合には、その原因が事故、乱用、誤用など弊社の責に帰さない事由による場合を除き、無償で同種の良品と交換させていただきます。

### 5. 責任の制限

弊社は、許諾プログラムの使用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害(データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む)については、通常もしくはは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生や第三者からの賠償請求の可能性があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

### 6. 第三者のソフトウェア

弊社は、本ソフトウェアとともに、第三者のプログラム、データファイルおよびそれに関するドキュメンテーション(以下「第三者ソフトウェア」といいます)を提供する場合があります。別の規定に従い取り扱われるべき旨の記載が、本ソフトウェア付随のマニュアルに記載されている場合には、本使用条件にかかわらず、その別の規定に従い取り扱われるものとし、弊社によるアフターサービスおよび保証などについては、以下の規定が適用されるものとします。

弊社は、第三者ソフトウェアに関しての操作方法、瑕疵その他に関してアフターサービスを提供するものではありません。弊社は、第三者ソフトウェアの商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証を、明示であると黙示であると問わず、一切いたしません。第三者ソフトウェアの使用もしくは機能から生じるすべての危険は、お客様が負担しなければなりません。

弊社は、第三者ソフトウェアの使用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害(データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む)については、通常もしくはは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

### 7. 一般事項

本契約は、日本法の適用を受け、日本法に基づいて解釈されるものとします。

# サービスについて

## 1. 保証期間

本機の保証期間は、ご購入(保証書による)より満1ヶ年(現金・クレジット・月賦等による区別はございません)。また保証は日本国内でのみ有効と致します。

## 2. 保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買い上げ店にご連絡頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂く場合もあります。

また、お買い上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買い上げ店あるいは下記のヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点にご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引き続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続き致します。

## 3. アフターサービス

満1ヶ年の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引き続き責任をもってサービスをさせていただきます。そのほかご不明の点などございましたら、お買い上げ店あるいは下記のヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点までお問い合わせください。

## 4. 摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合いは、使用環境や使用時間などによって大きく異なります。本機を末永く安定してご愛用頂くためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお勧めします。摩耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例：ポリウムコントロール、スイッチ、リレー類、入出力ジャック、接続端子など

お客様ご相談窓口 (ヤマハギター・ドラム製品に対するお問合せ窓口)

ヤマハ管弦打楽器・インフォメーションセンター

Tel : 053-411-4744 (月曜日～土曜日 / 10:30～19:00)

\* 日曜、祝日及びセンター指定休日を除く

## ヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点 (修理受付および修理品お持込み窓口)

北海道サービスステーション	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	TEL (011) 512-6108
仙台サービスステーション	〒984-0015	仙台市若林区卸町 5-7 仙台卸商共同配送センター3F	TEL (022) 236-0249
首都圏サービスセンター	〒143-0006	東京都大田区平和島2丁目1番1号 京浜トラックターミナル内14号棟A-5F	TEL (03) 5762-2121
浜松サービスステーション	〒435-0016	浜松市和田町 200 ヤマハ(株)和田工場6号館2階	TEL (053) 465-6711
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町 2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F	TEL (052) 652-2230
大阪サービスセンター	〒565-0803	吹田市新芦屋下 1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内	TEL (06) 6877-5262
四国サービスステーション	〒760-0029	高松市丸亀町 8-7 (株)ヤマハミュージック神戸 高松店内	TEL (087) 822-3045
九州サービスステーション	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前 2-11-4	TEL (092) 472-2134
[本社] CSセンター	〒435-0016	浜松市和田町 200 ヤマハ(株)和田工場6号館2階	TEL (053) 465-1158

## ヤマハ株式会社 各営業所 (商品に関する問い合わせ先)

### EM 営業統括部

EM 北海道	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	TEL (011) 512-6113
EM 仙台	〒980-0804	仙台市青葉区大町2-2-10	TEL (022) 222-6147
EM 東京	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11	TEL (03) 5488-5471
EM 名古屋	〒460-8588	名古屋市中区錦1-18-28	TEL (052) 201-5199
EM 大阪	〒542-0081	大阪市中央区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館	TEL (06) 6252-5231
EM 九州	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL (092) 472-2130
企画推進室	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11	TEL (03) 5488-5445

※住所及び電話番号、名称は変更になる場合があります。

ヤマハ株式会社 弦打楽器事業部

〒430-8650 静岡県浜松市中区沢町10番1号

# MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.



